

地域森林計画（案）について

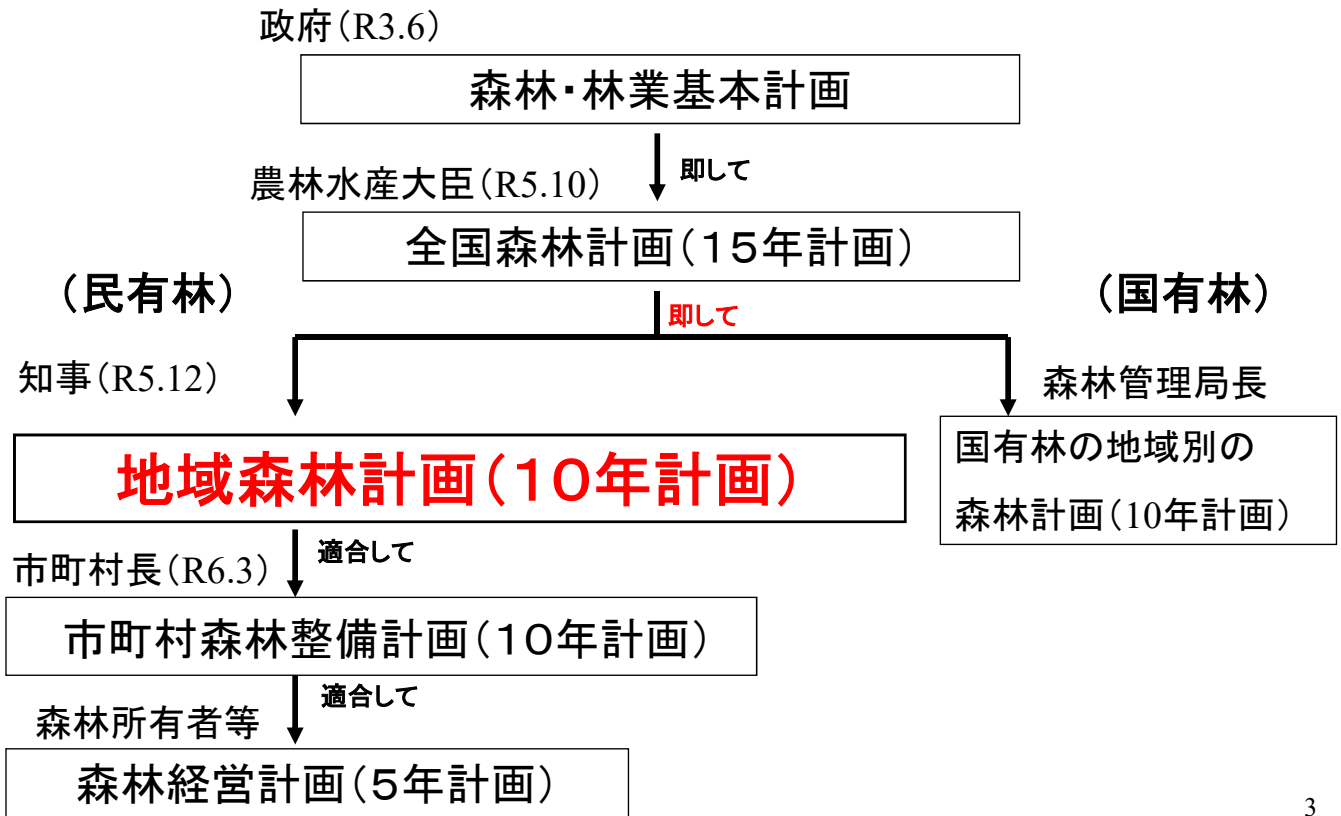
令和6年12月16日
県庁 803会議室

1

本日のもくじ

- 1 地域森林計画とは
- 2 令和6年度地域森林計画の案
指針等、森林の区域（全計画区）
- 3 下越森林計画区の概要、実行量、計画量
（樹立）
- 4 中越、上越及び佐渡森林計画区の計画量
（変更）

森林計画制度の体系



3

地域森林計画とは

- ・全国森林計画に即し、森林関連施策の方向や地域の特性に応じた望ましい森林の姿を目指し、整備・保全の目標及び計画量などについて定めるもの
- ・市町村森林整備計画を策定するための指針となる
- ・新潟県は下越、中越、上越、佐渡森林計画区の4つの計画区からなる



4

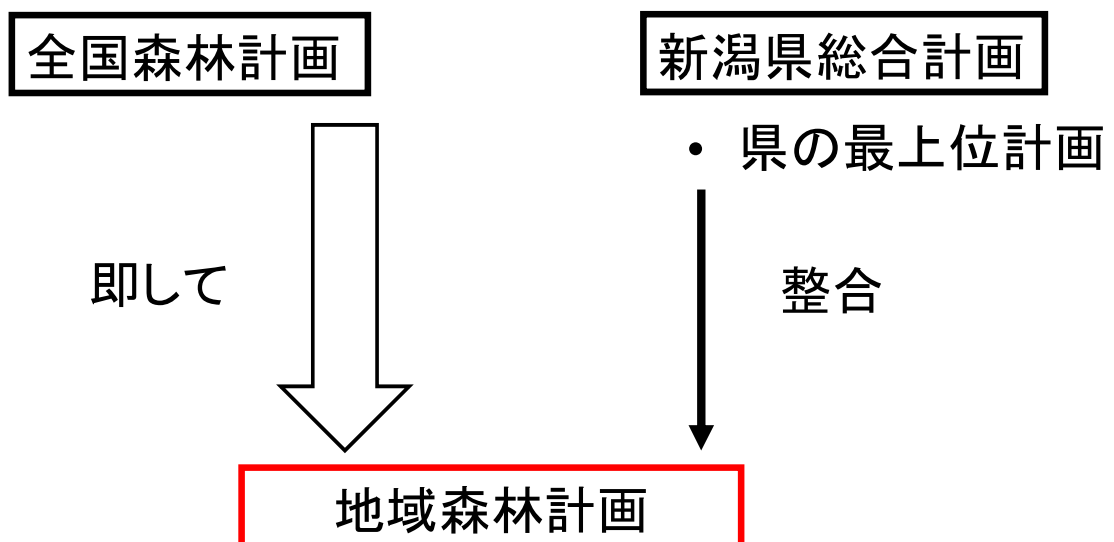
各森林計画区の計画期間

計画区 (樹立年)	計 画 期 間 (年度)														
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	
下越 (R6・R11)															
	前 期					後 期									
	5年					5年									
中越 (R4・R9)															
	前 期					後 期									
	5年					5年									
上越 (R2・R7)															
	前 期					後 期									
	5年					5年									
佐渡 (R5・R10)															
	前 期					後 期									
	5年					5年									

樹立 : 下越計画区 (R7を始期)

変更 : 中越、上越、佐渡計画区

地域森林計画と新潟県総合計画との関係



- ・ 森林の整備及び保全に関する目標等
- ・ 健全な森林資源の維持増進を図る
- ・ 市町村森林整備計画の規範

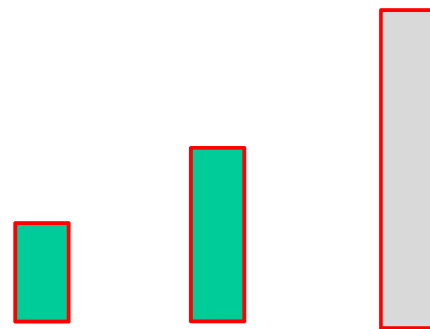
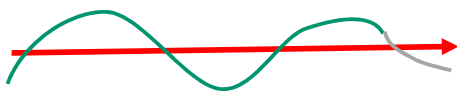
地域森林計画と新潟県総合計画のイメージ

- 地域森林計画

森林資源の維持増進を図る計画量
= 基準

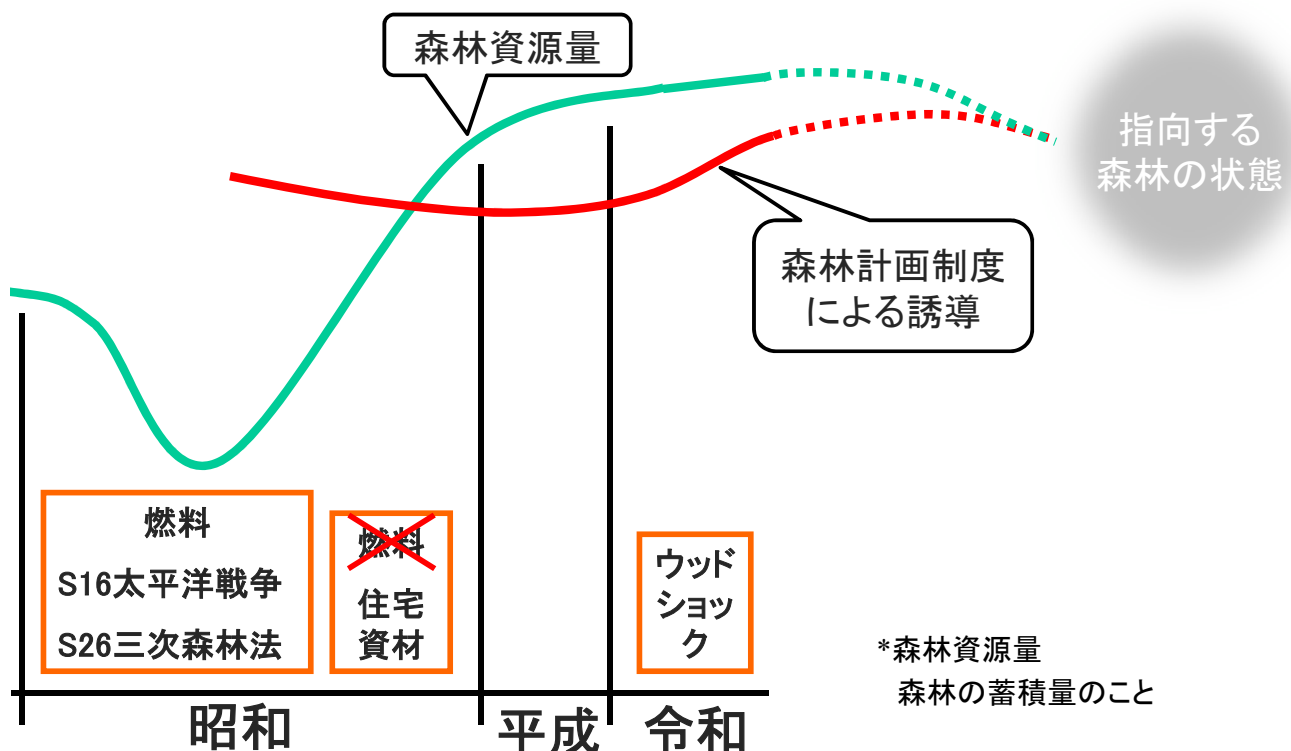
- 新潟県総合計画

木材産業の目標
= 目指す数字



7

森林資源量の増減と森林計画制度の関係イメージ



8

本日のもくじ

- 1 地域森林計画とは
- 2 令和6年度地域森林計画の案
指針等、森林の区域(全計画区)
- 3 下越森林計画区の概要、実行量、計画量
(樹立)
- 4 中越、上越及び佐渡森林計画区の計画量
(変更)

9

[資料No.2] 地域森林計画(案)
第1 序章 P7

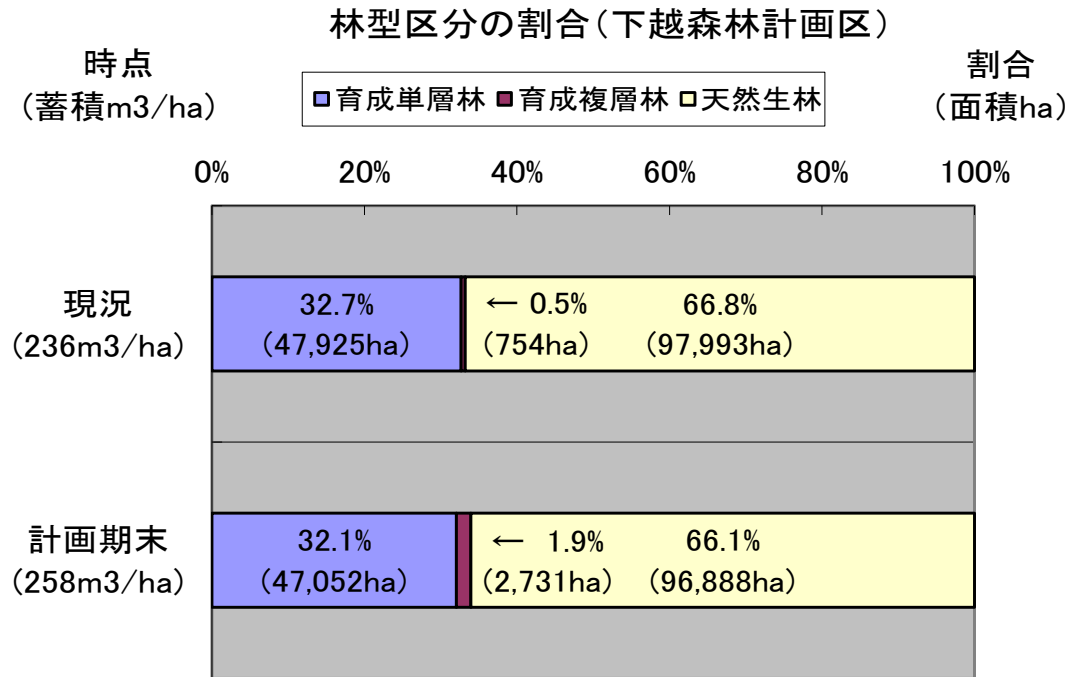
地域森林計画書の構成

章	名称	主な内容	対象計画区
第1	序章	基本的な考え方等	全計画区
		各計画区の概況	
第2	指針等(共通事項)	市町村森林整備計画の規範	全計画区
第3	下越森林計画区の計画量等(樹立)	森林の区域、計画量等	樹立計画区
		計画箇所等	
第4	中越、上越及び佐渡森林計画区の計画量等(変更)	森林の区域、計画量等	変更計画区
		計画箇所等	
第5	参考資料	森林・林業の概況・動向等の参考資料	全計画区

10

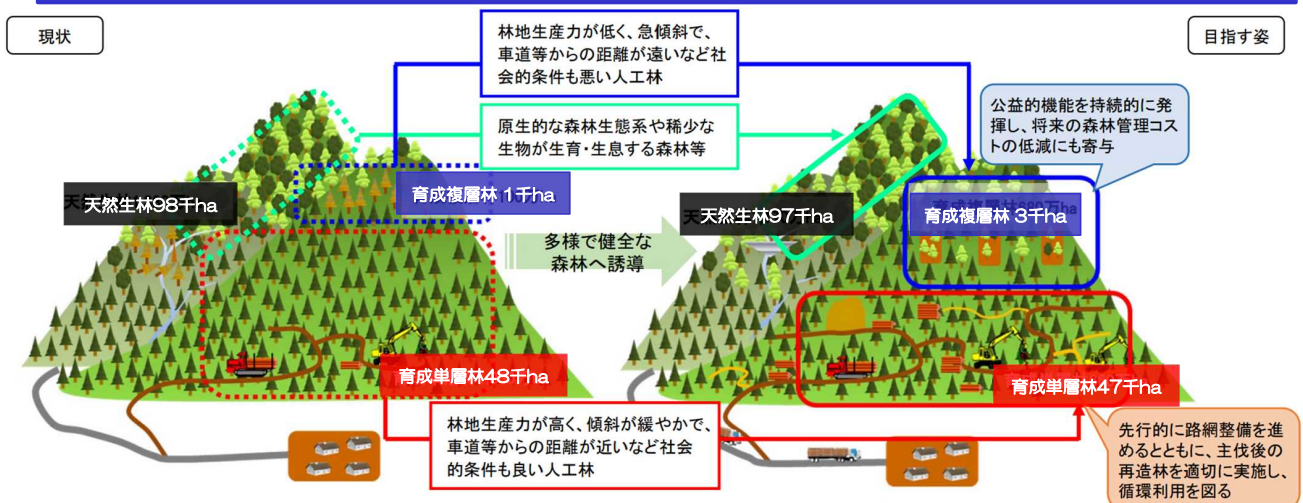
森林整備及び保全の目標 (現況と計画期末)

- ・育成複層林を増加させる



森林整備及び保全の目標 (現況と計画期末)

- ・林地生産力が低く、急傾斜等の条件が悪い森林を、育成複層林の増加により、公益的機能を持続的に発揮(1千ha→3千ha)



林型	林型の解説
育成単層林	森林を構成する林木を皆伐により伐採し、人為により単一の樹冠層が成立・維持される森林 例えば、植栽によるスギ等からなる森林
育成複層林	森林を構成する林木を擇状若しくは群状又は単木で伐採し、人為により一定の範囲又は同一空間において複数の樹冠層が成立・維持される森林 例えば、針葉樹を上木とし広葉樹を下木とする森林
天然生林	主として天然力*を活用することにより成立・維持される森林 例えば、天然更新によるゴナラ、ミスナラ、ブナ等からなる森林

※林野庁「林政審議会」資料に、下越森林計画区の数値を追記

指針等の主な変更内容

① (2)造林に関する事項 ii 天然更新に関する指針(P24)
市町村が天然更新の完了確認を行いやすいように、主な更新樹種の表を出現頻度順へ変更

② (3)保育及び間伐に関する事項 iii その他必要な事項(P28-29)

今までの林業における木材生産に関する内容に加え、育成複層林を増やすため、公益的機能の発揮に関する施業の手法を追加

第2 指針等(2)造林に関する事項
ii 天然更新に関する指針 P24

指針等の主な変更内容①

・市町村が天然更新の完了確認を行いやすいように、
主な更新樹種の表を出現頻度順へ変更

主な更新樹種

※出現頻度「高」のみ抜粋

出現頻度	落葉広葉樹						常緑広葉樹			針葉樹		
	樹種名	科名	萌芽能力	樹種名	科名	萌芽能力	樹種名	科名	萌芽能力	樹種名	科名	萌芽能力
高	アオダモ (別名:コハチネリ)	モクセイ科	○	コナラ	ブナ科	○				アカマツ	マツ科	
	アオハダ	モチノキ科	○	コハウチワカエデ (別名:イヌイタ)	ムクロジ科	○				スギ	スギ科	
	アズキナン	バラ科		タムシバ	モクレン科							
	イタヤカエデ (別名:アハハシ、ウツノミ、オトノミ)	ムクロジ科	○	ナナカマド	バラ科	○						
	ウリハダカエデ	ムクロジ科	○	ハウチワカエデ	ムクロジ科	○						
	ウワミズザクラ	バラ科	○	ブナ	ブナ科	×						
	オニグルミ	クルミ科	○	ホオノキ	モクレン科	○						
	カスミザクラ	バラ科	○	ミズキ	ミズキ科	×						
	キハダ	ミカン科	×	ミズナラ	ブナ科	○						
	クリ	ブナ科	○	ヤマグワ	クワ科							
	ケヤキ	ニレ科	○	ヤマボウシ	ミズキ科							
	コシアブラ	ウコギ科	×	ヤマモミジ	ムクロジ科							

注1 新潟県が過去に実施した「森林資源モニタリング調査*」や図鑑等において確認される、新潟県内に生育する樹種のうち、高木性の樹種を出現頻度別にまとめたもの。

*森林資源モニタリング調査

持続可能な森林経営の推進に資する観点から、森林の状態とその変化の動向を全国で統一した手法に基づき把握・評価する調査で、県内約300箇所の定点調査地を5年で一巡

指針等の主な変更内容②

・イ 複層林施業の方法に関する指針、エ 広葉樹施業の方法に関する指針の変更

<目的・効果>

- ・今までの林業における木材生産に関する内容に加え、育成複層林を増やすため、公益的機能の発揮に関する施業の手法を追加
- ・育成複層林の増加により、公益的機能を持続的に発揮し、将来の森林管理コストの低減にも寄与

→ 具体的な記載内容は[資料No.2] 地域森林計画(案)P28,29

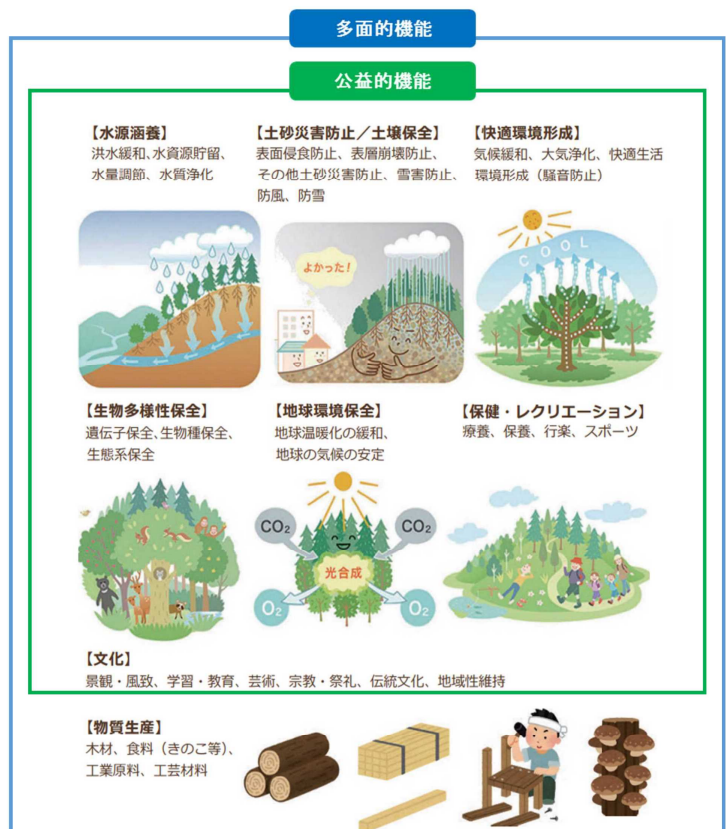
15

森林の持つ公益的機能と多面的機能

森林は、水源かん養、山地災害防止、二酸化炭素の吸収・固定など、様々な「公益的機能」の発揮を通じて県民生活に多大な恩恵をもたらしています。

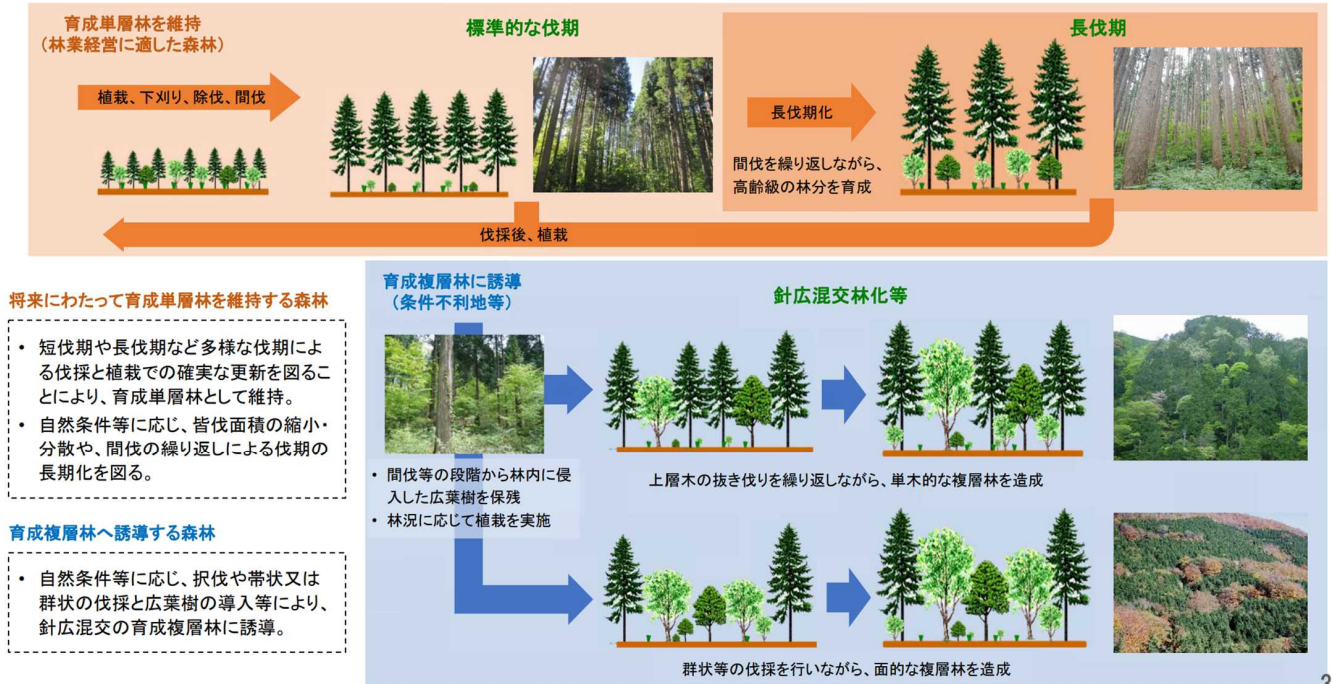
また、こうした公益的機能に加え、木材生産等の経済的機能も有しており、これらを合わせたものが、「多面的機能」と呼ばれています。

→ 詳細は[資料No.2] 地域森林計画(案)P17,18



育成単層林の維持・育成複層林への誘導の考え方

■ 育成単層林の誘導イメージ

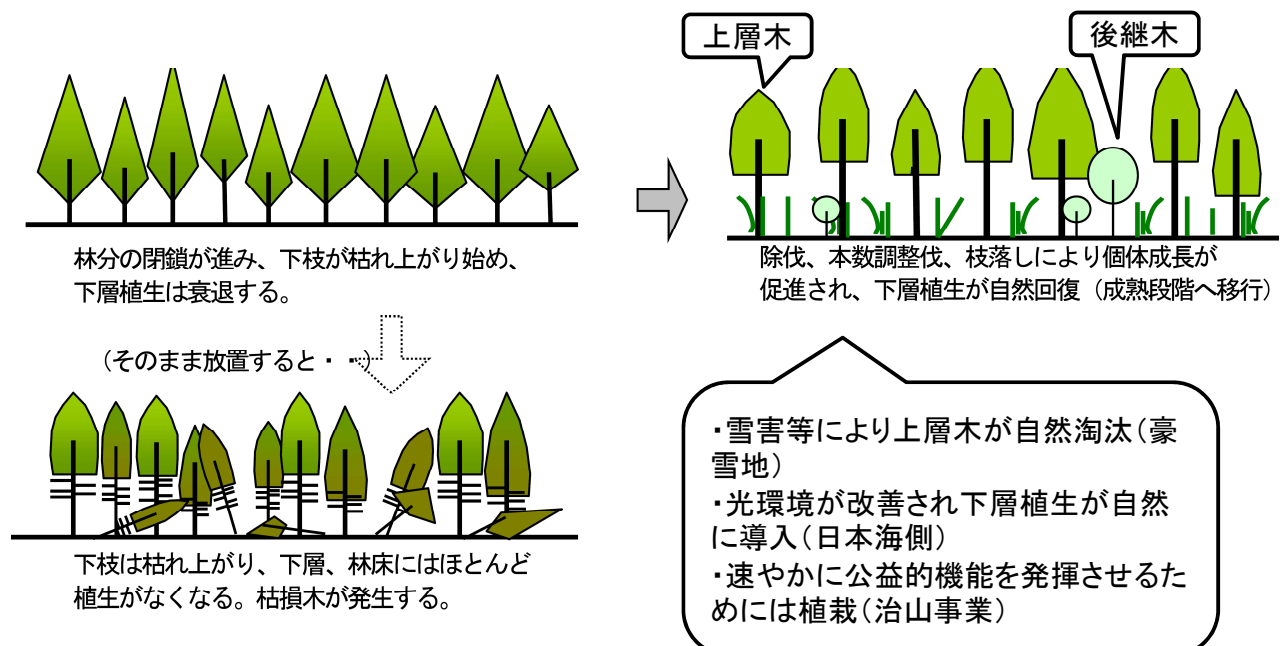


出典：林野庁「林政審議会」資料

第2 指針等 (3) 保育及び間伐に関する事項 P28-29

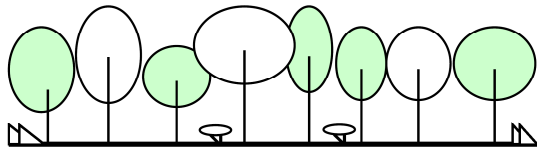
指針等の主な変更内容②

イ スギ人工林における複層林施業の方法に関する指針

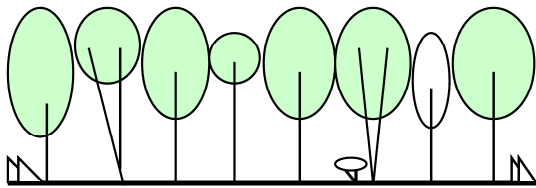


指針等の主な変更内容②

エ 広葉樹施業の方法に関する指針

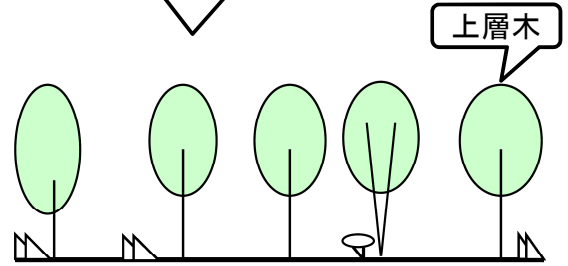


a. 林冠で主林木となる樹種が陽性の樹種等と競争し合っている（低木・小高木性樹種など）。



b. 上層木が成長して過密になり林冠は強く閉鎖。個体の成長に優劣が見られる（除伐後の林分、旧薪炭林など）。

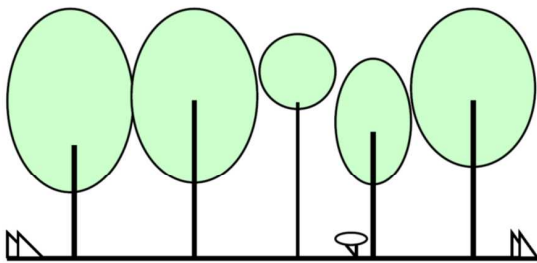
・上層木を健全に育成するため、除伐等を実施
→ 育成単層林



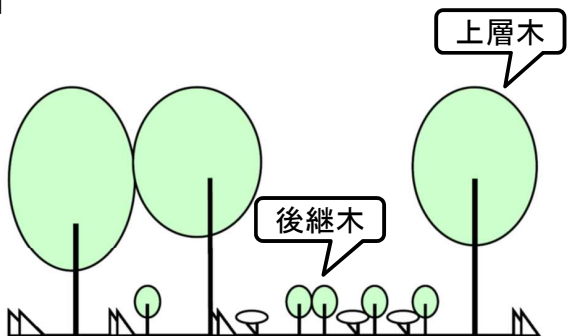
除伐、本数調整伐により適正な立木配置にして樹高、樹冠を発達させる。

指針等の主な変更内容②

エ 広葉樹施業の方法に関する指針



照度不足により下層植生が貧弱であり、後継樹の発生、生育が不良。



本数調整伐により適度な大きさの林冠ギャップを形成し、後継樹の発生、下層植生の発達を促進

・雪害等により上層木が自然淘汰（豪雪地）
・光環境が改善され下層植生が自然に導入（日本海側）
・速やかに公益的機能を発揮させるためには植栽（治山事業）
→ 育成複層林

森林区域と森林資源量の変化

佐渡森林計画区

森林区域：720ha増

森林資源量：235千m³増

下越森林計画区

森林区域：188ha増

森林資源量：323千m³増

上越森林計画区

森林区域：339ha増

森林資源量：227千m³増

中越森林計画区

森林区域：409ha増

森林資源量：346千m³増

※1年間の変化量

21

森林区域の増減理由

- 林地開発や国土調査に基づく森林境界の修正等による地域森林計画対象森林の減少
- 土地利用の動向からみて森林として利用することが適当であると認められる区域を新たに地域森林計画の対象とする森林の区域への追加や国土調査に基づく森林境界の修正等による対象森林の増加

森林区域の追加

◆ 背景

- ・現況が森林だが森林区域になっていない
- ・土地利用の適正化が必要
- ・航空レーザ成果等を活用した森林リモートセンシング等の高度化

森林の追加



◆ 効果

- ・森林としての適正な管理が可能
(補助金等の活用、
森林経営管理制度による整備)
- ・公益的機能の発揮
- ・二酸化炭素の吸収量の増加

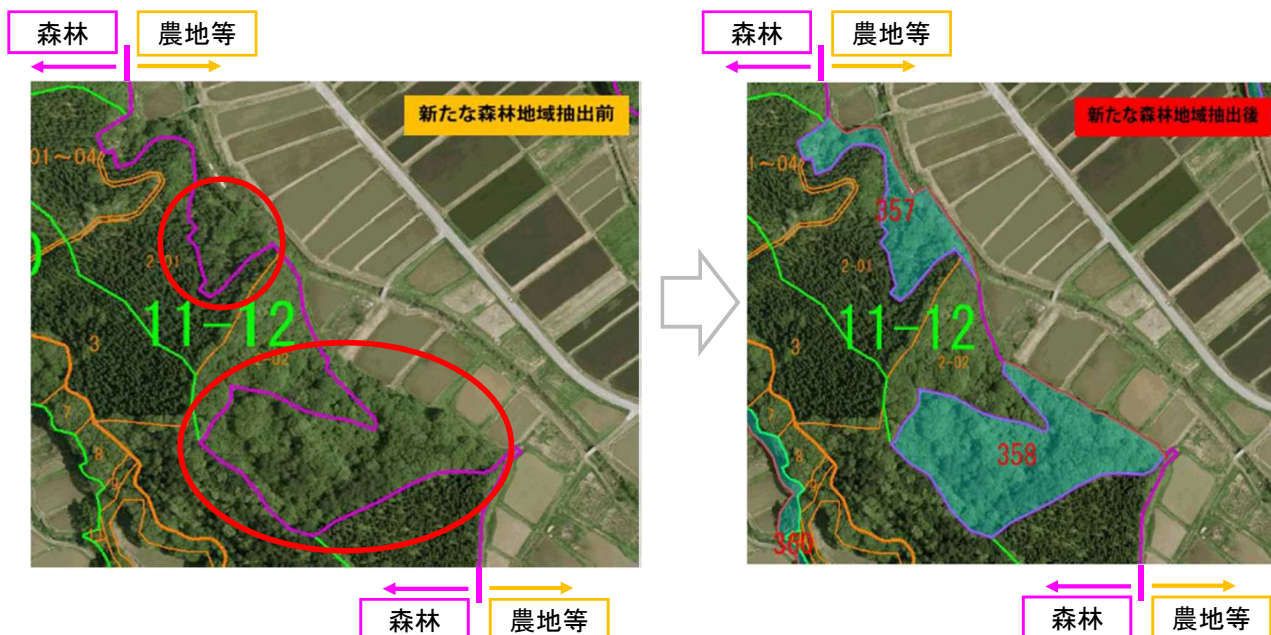


出典：林野庁「概算要求」資料

23

森林区域の追加

現況が森林の区域を抽出し、森林区域に追加



➡ 今回、約1,700haの森林を追加
今後も計画的に実施予定

24

本日のもくじ

- 1 地域森林計画とは
- 2 令和6年度地域森林計画の案
指針等、森林の区域(全計画区)
- 3 **下越森林計画区の概要、実行量、計画量
(樹立)**
- 4 中越、上越及び佐渡森林計画区の計画量
(変更)

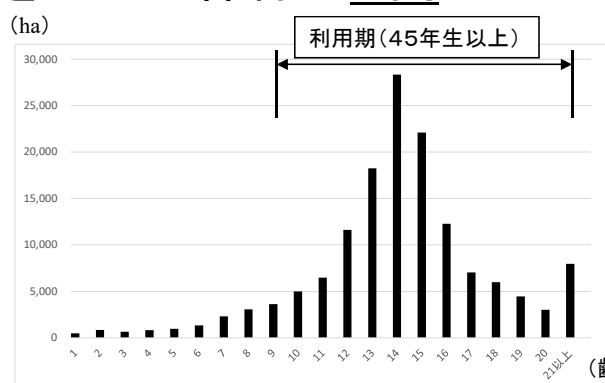
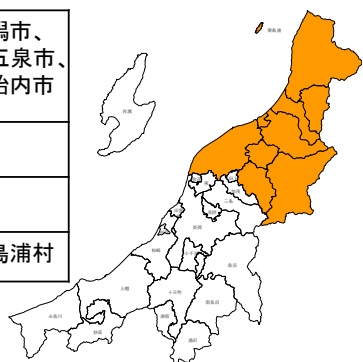
25

第3 下越計画区の計画量等 P8-10

【樹立】下越森林計画区の概況

- 民有林面積158千ha(全県566千haの3割)
- 人工林率30.1%(県平均24.9%)
- 民有林蓄積37百万 m^3 (全県113百万 m^3 の3割)
うち人工林24百万 m^3 、天然林13百万 m^3
- 素材生産量は約14万 m^3 (全県約22万 m^3 の6割)
- スギ人工林で利用期を迎えた森林が8割

市	村上市、新潟市、 新発田市、五泉市、 阿賀野市、胎内市
東蒲原郡	阿賀町
北蒲原郡	聖籠町
岩船郡	関川村、粟島浦村



(年齢) 25

【樹立】下越森林計画区の概況

- 県内最大の素材生産地、木材等の消費地
- 木材の用途は、製材用、合板、木材チップ、燃料用等
(例)木材共販市場、新潟合板(新潟市)、海外輸出
- 主伐から植栽の一貫作業による循環型林業への取組
- 森林資源の活用に向け、森林所有者から消費者までをつなぐ、仕組みづくり つなぐプロジェクト R5まで:5地区
- 建設業等の異業種から林業への参入



【現場視察研修(素材生産、県産材利用事例)】

【樹立】下越森林計画区の実行量

計画区		下越		
区分		前計画量 (R2~R6)	前実行量 (R2~R6*)	実行歩合 (%)
伐採立木材積 (千m3)	総数	982	732.5	(74.6)
	主伐	746	403.3	(54.1)
	間伐	236	329.2	(139.5)
造林面積 (ha)	人工造林	907	121.1	(13.4)
	天然更新	1,010	658.7	(65.2)
間伐面積 (ha)		2,197	3,430.0	(156.1)
林道開設延長 (km)		38.1	10.0	(26.2)
保安林面積 (ha)		56,307	54,378	(96.6)
治山事業 (地区)		124	46	(37.1)

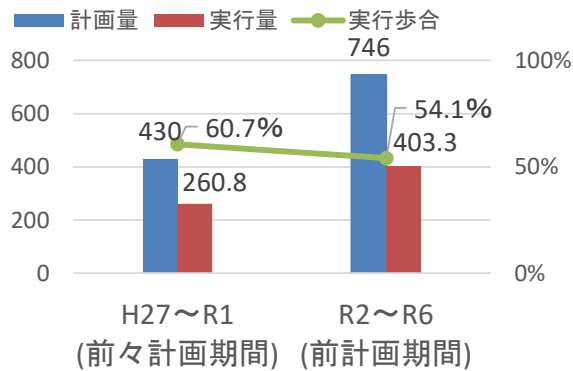
※5年間の実行量

※R6は見込み

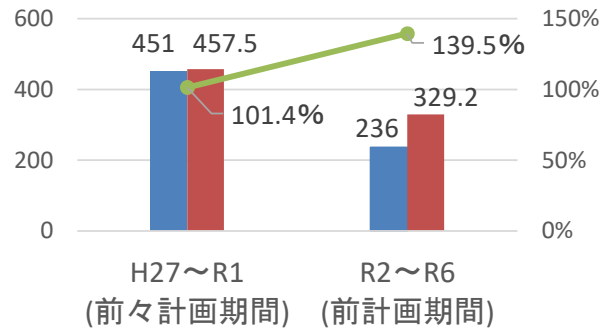
※実行歩合が100%未満の場合は赤字表記

【樹立】 下越森林計画区の実行量

○主伐材積(千m³)

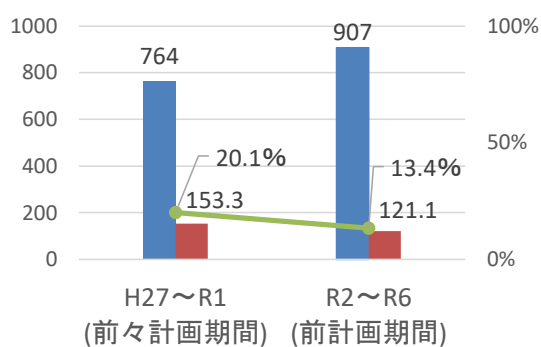


○間伐材積(千m³)

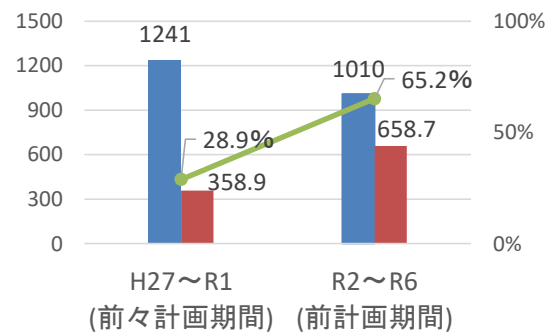


【樹立】 下越森林計画区の実行量

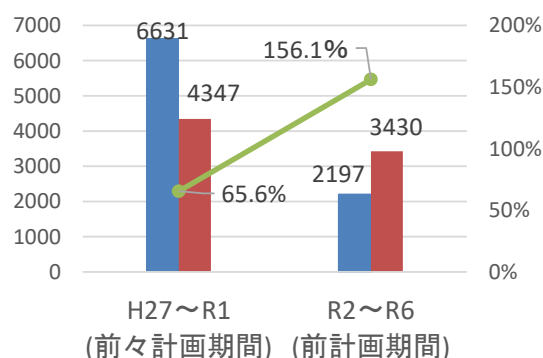
○人工造林(ha)



○天然更新(ha)



○間伐面積(ha)



【樹立】 下越森林計画区の計画量

計画区		下越		
区分		前計画量 (R2～R6)	新計画量 (R7～R11)	変化率 (%)
伐採立木材積 (千m3)	総数	982	982	(100.0)
	主伐	746	746	(100.0)
	間伐	236	236	(100.0)
造林面積 (ha)	人工造林	907	1,032	(113.8)
	天然更新	1,010	1,010	(100.0)
間伐面積 (ha)		2,197	2,197	(100.0)
林道 (km)		38.1	23.1	(60.6)
保安林面積 (ha)		56,307	55,931	(99.3)
治山事業 (地区)		124	81	(65.3)

Point ・人工造林面積は増加
 ・林道、保安林、治山は減少

※5年間の計画量
 ※変化率が100%未満の場合は赤字表記

31

本日のもくじ

- 1 地域森林計画とは
- 2 令和6年度地域森林計画の案
指針等、森林の区域(全計画区)
- 3 下越森林計画区の概要、実行量、計画量
(樹立)
- 4 中越、上越及び佐渡森林計画区の計画量
(変更)

32

【変更】中越・上越・佐渡森林計画区の計画量

計画区		中越			上越			佐渡		
区分		現計画量	新計画量	変化率 (%)	現計画量	新計画量	変化率 (%)	現計画量	新計画量	変化率 (%)
伐採立木材積 (千m3)	総数	473	473	(100.0)	200	200	(100.0)	72	72	(100.0)
	主伐	280	280	(100.0)	106	106	(100.0)	31	31	(100.0)
	間伐	193	193	(100.0)	94	94	(100.0)	41	41	(100.0)
造林面積 (ha)	人工造林	319	319	(100.0)	152	152	(100.0)	39	39	(100.0)
	天然更新	425	425	(100.0)	162	162	(100.0)	54	54	(100.0)
間伐面積 (ha)		2,328	2,328	(100.0)	1,141	1,141	(100.0)	409	409	(100.0)

※5年間の計画量

※各計画区の計画期間は、中越：R5～R9、上越：R3～R7、佐渡：R6～R10

※変化率が100%未満の場合は赤字表記

Point

- ・計画量は変更なし

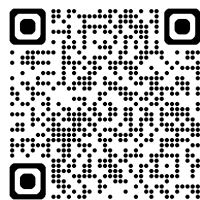
33

目次、P7、P24、P28、P153、P161、裏表紙

<その他>見やすい地域森林計画書

見やすい地域森林計画書となるように変更しました

- ・実行量のグラフを追加(P53)
- ・QRコードの追加(目次、P7、P24、P28、P161、裏表紙)



<例：地域森林計画 HP>

34